



学校評価アンケート（生徒・保護者）結果

（担当：教頭・教務主任）

12月に実施した第2回学校評価アンケートの結果を報告いたします。アンケートへのご協力ありがとうございました。

生徒：生徒アンケート，保護者：保護者アンケート

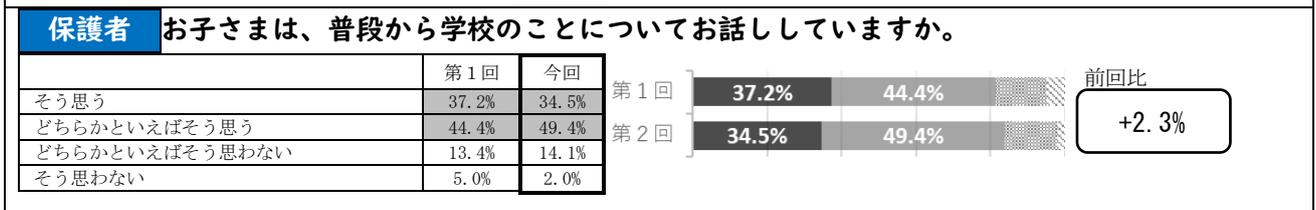
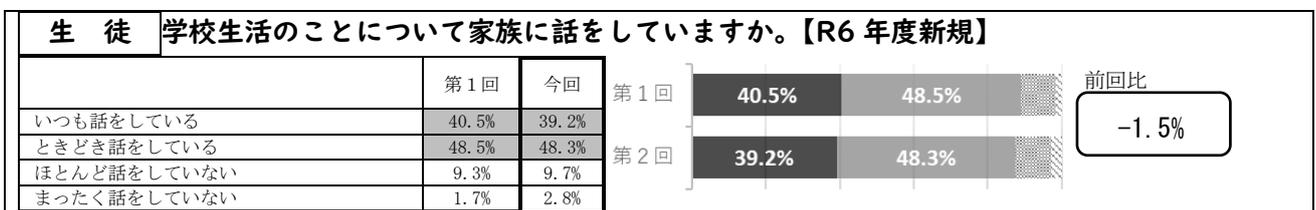
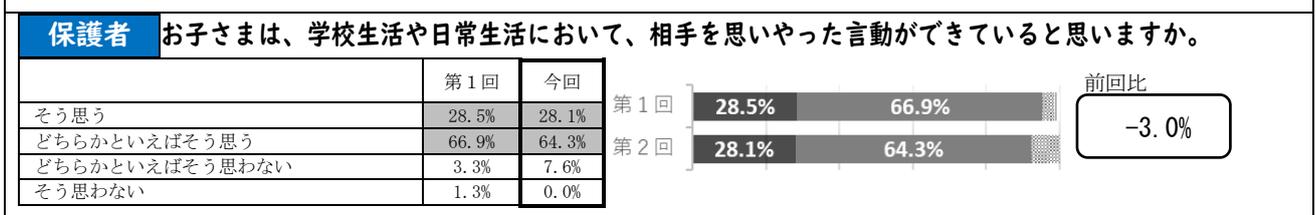
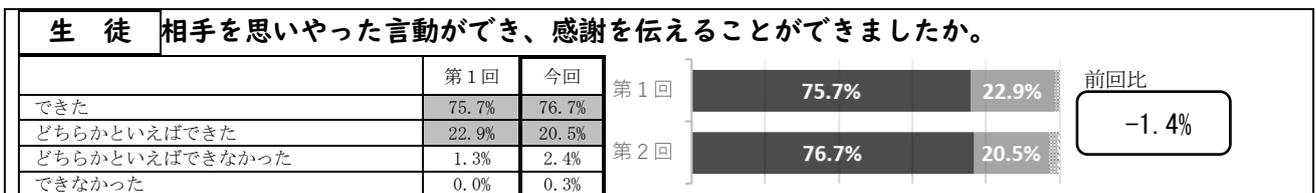
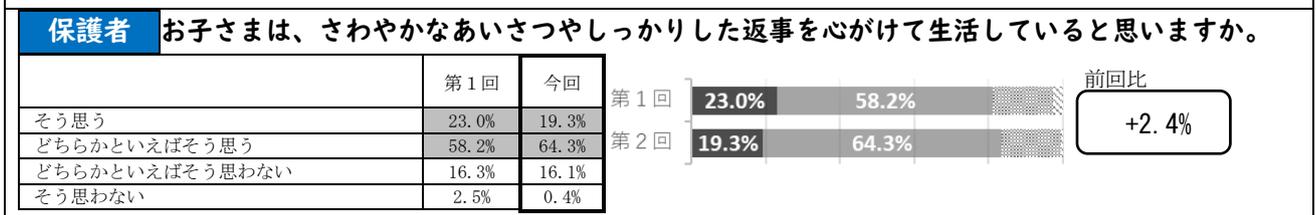
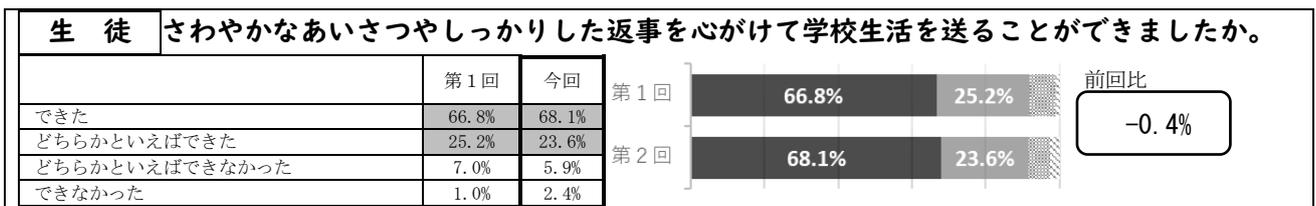
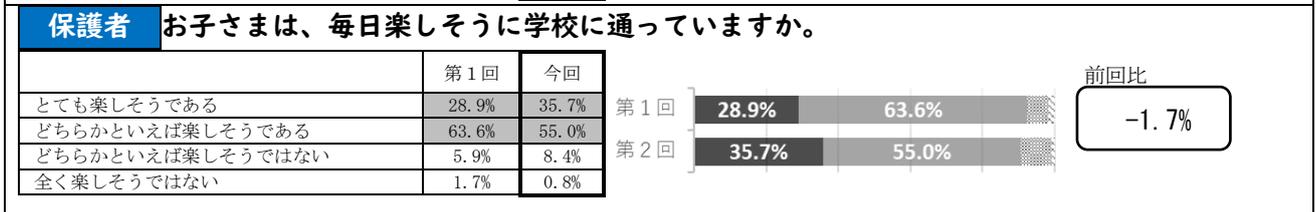
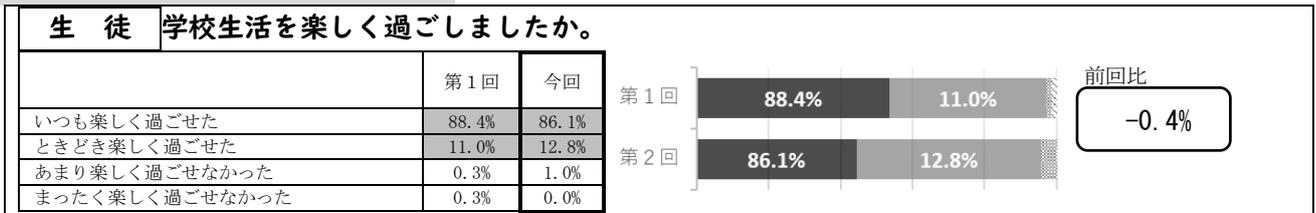
【授業について】		
生徒	あなたは学習課題に対して、自分の考えをもって、意欲的に取り組みましたか。	
	第1回	今回
自分の考えをもって意欲的に取り組めた	52.8%	56.9%
考えはもてなかったが意欲的に取り組めた	30.6%	28.1%
考えはもてたが、意欲的に取り組めなかった	15.3%	13.2%
考えをもてず、意欲的に取り組めなかった	1.3%	1.7%
	第1回	第2回
	52.8%	30.6%
	56.9%	28.1%
	前回比 +1.7%	
生徒	授業における話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができましたか。	
	第1回	今回
思う	53.2%	62.2%
どちらかといえば思う	40.5%	32.3%
どちらかといえば思わない	5.3%	3.8%
思わない	1.0%	1.7%
	第1回	第2回
	53.2%	40.5%
	62.2%	32.3%
	前回比 +0.8%	
生徒	各教科の授業によって新しい知識や考え方、技能などが得られ、自分が成長したことを確認できましたか。	
	第1回	今回
どの教科でも成長を確認できた	28.2%	30.2%
だいたいどの教科で成長を確認できた	54.2%	46.5%
特定の教科で成長を確認できた	17.3%	22.6%
どの教科でも成長を確認できなかった	0.3%	0.7%
	第1回	第2回
	28.2%	54.2%
	30.2%	46.5%
	前回比 -5.7%	

意欲や話し合い活動を通じた考えの深まりについては数値が若干向上しましたが、「成長を確認」という項目が下がりました。学習内容が難しくなり、「わからない」ことが多くなったことが原因だと考えています。考えを深める活動と同時に、基礎的・基本的な知識や技能の習得のための活動も授業内に適切に取り入れていけるよう継続的な授業改善を行っていきます。

【家庭学習について】		
生徒	工夫して家庭学習を進めることができましたか。【R6年度新規】	
	第1回	今回
できた	37.9%	33.7%
どちらかといえばできた	44.9%	46.9%
どちらかといえばできなかった	13.6%	12.8%
できなかった	3.7%	6.6%
	第1回	第2回
	37.9%	44.9%
	33.7%	46.9%
	前回比 -2.2%	
保護者	お子さまの平日の家庭学習の様子について、もっとも当てはまるものをお選びください。【R6年度新規】	
	第1回	今回
毎日、取り組んでいる	19.2%	22.1%
ほぼ毎日、取り組んでいる	40.2%	37.8%
どちらかというど、取り組んでいないことが多い	31.8%	32.9%
ほとんど(まったく)、取り組んでいない	8.8%	7.2%
	第1回	第2回
	19.2%	40.2%
	22.1%	37.8%
	前回比 +0.4%	

年間を通して、終学活の開始3分ですべての教室が静かになるように取り組んでいます。その時間に「家庭学習の予定」を立てる取組を行ってきました。「工夫して家庭学習を進める」ことは自らの学習内容の理解度を確認するためにとっても大切だと考えています。学年部や教科担当から工夫して家庭学習を行うよう継続して指導してまいります。

【学校生活や日常生活について】



第1回と同様に肯定的な回答を多くいただきました。わずかな数値の変化ですが、例えば「思いやり」といった項目で生徒・保護者アンケートともに若干減少しています。このような定量的な変化に加え、日々のようすや雰囲気といった定性的な変化を的確に見取り、生徒一人一人が安心・安全に生活できる学校づくりを継続していきます。

【JRC 活動の精神について】

※ JRCとは、「青少年赤十字」のこと。

生徒	JRC 活動の精神「気づき、考え、実行する」を意識して生活することができましたか。	
	第1回	今回
意識した	48.8%	53.1%
ときどき意識した	41.2%	36.8%
あまり意識しなかった	9.3%	9.0%
まったく意識していない	0.7%	1.0%

第1回

第2回

前回比

-0.1%

保護者	お子さまは、JRCの基本理念である「気づき、考え、実行する」を意識した生活を送ることができていると思いますか。【R6年度新規】	
	第1回	今回
そう思う	10.0%	10.0%
どちらかといえばそう思う	65.7%	63.1%
どちらかといえばそう思わない	21.3%	24.5%
そう思わない	2.9%	2.4%

第1回

第2回

前回比

-2.6%

おおむね第1回と同程度の結果でした。当校ではJRC活動理念を基盤に地域とともに歩む学校を基本理念としています。それが村松桜中学校の特色の一つであることを生徒がさらに意識し、日々の生活に生かしていけるように努めていきます。

【地域理解について】

生徒	行事や総合的な学習の時間など様々な教育活動を通じて、地域理解が深まり、地域に愛着をもつことができましたか。	
	第1回	今回
思う	35.2%	38.2%
どちらかといえば思う	54.2%	51.4%
どちらかといえば思わない	9.6%	9.7%
まったく意識していない	1.0%	0.7%

第1回

第2回

前回比

+0.2%

保護者	お子さまは、地域に愛着をもっていると思いますか。【R6年度新規】	
	第1回	今回
そう思う	21.8%	22.5%
どちらかといえばそう思う	64.0%	60.6%
どちらかといえばそう思わない	10.9%	15.7%
そう思わない	3.3%	1.2%

第1回

第2回

前回比

-2.6%

夏休み以降は、2年生の職場体験、1年生は雪割草の植付けや地域調べ学習を行いました。また、秋季例大祭の日の下校を早く設定し、地域に貢献できる機会としました。

地域を理解し、「ふるさと」に愛着をもつためには、学校教育での学びを学校外でも生かしていくとする意識や実践力が求められます。今後も保護者の皆様・地域の皆様からのご理解・ご協力をお願いいたします。

【保護者アンケート（記述項目）への回答】

保護者アンケートより	回答
<p>定期テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期テストの回数が、他校より少なく範囲が広範囲である為、復習するのに大変そうです。 	<p>定期テストに関しては、社会の流れや学習指導要領の改訂に伴い、それぞれ学校独自のカリキュラムを工夫して実施しています。定期テストを一切行わず単元テストを行う学校があったり、定期テストを年間に5回行っている学校があったりします。「定期テストの回数を減らした結果、生徒の学習量が大幅に減り、学校全体の学力が低下した」「定期テストの数が多くて生徒が休む暇がない。教員もテストづくりや採点に追われ多忙感が大きくなっている。」等々、それぞれに課題はあると聞いております。もちろん、それぞれにメリットもありますが、大切なのはその学校の実態に即し、学力向上に向けて最善の方法を目指していくことです。それぞれの教科の特性を考えながら、学力向上を第一義に、定期テストの実施方法について検討を重ねていきます。</p>

<p>あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の際、保護者とすれ違っても<u>挨拶をしない生徒がとて多い</u>と思います。思春期で多感な時期でもあるので、<u>恥ずかしい気持ちも分かりますが、挨拶を交わして嫌な気分になる生徒、保護者ともにいないと思うので、ぜひ生徒たちには恥ずかしがらずに挨拶してもらいたい</u>と思います。 ・登校時に横断歩道の誘導をしていた時、こちらからあいさつをすると返してくれるのですが、<u>あいさつを自分からしてくれる生徒が少なかったのが残念</u>でした。 ・学校に何うと、<u>気持ちのよいあいさつをしてくれる子が多い</u>と感じます。 	<p>挨拶はコミュニケーション能力の根幹であるとともに、人間関係づくりにおいて極めて大切であると考えております。ご推察のとおり、思春期特有の感情や個性があり、挨拶に個人差が生まれやすい時期ではありますが、挨拶の大切さについて、教師の指導だけでなく生徒会の活動等も通じて、一人一人の生徒に伝えて参ります。ご家庭でも挨拶の大切さについてお話しいただきたいと思います。</p>
<p>交通ルール・マナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校時、交通ルールを<u>しっかりと守っている子が多い</u>と思います。これからも、<u>続けてもらいたい</u>です。 ・通学以外の自転車の乗り方は、<u>ノーヘルが目立つ</u>と思います。 ・いつも横断歩道を渡る際、必ずお辞儀をして渡る姿に、村松桜中学校の行き届いた指導、生徒たちの純粋さを実感します。これからも<u>感謝の気持ち</u>を忘れず、学校生活など送ってほしいです。 ・3年前位は横断歩道を譲ると会釈してくれましたが今は一部の女子しかしてくれず、<u>さみしく感じて</u>おります。 	<p>ご記入いただきました横断歩道での行動につきましては、先述いたしました挨拶の一つであると考えております。「ありがとう」の気持ちを素直に表現することの大切さについて、今後も指導を重ねて参ります。</p> <p>交通安全の件につきましては、ヘルメットの着用を含め、改めて生命を守る行動について指導を積み重ねて参ります。保護者や地域の皆様には、これからも温かく厳しい目で子どもたちを見守っていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
<p>スクールバス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬季間のみバスが利用できていますが、バスの空席に余裕があるようならば、1年間通してバスを利用させてほしい。予算の都合上と言われたことがあるが、冬とそれ以外の時季でどれだけの差があるのか、なぜダメなのかの理由を聞かせてほしい。 	<p>通学バスの運行については学校が決めているものではありませんので、市の教育委員会からの回答を掲載します。</p> <p>「現在、五泉市立中学校における通学バスの乗車基準については、【通学距離がおおむね6km以上、冬季においては3km以上の場合】として運行しております。他の中学校の地区においても同様に運行しておりますので、ご理解をいただけますようお願いいたします。」</p>
<p>学校行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>体育祭、合唱祭を平日に開催して頂き</u>ありがとうございますございました。クラブチームの試合と重ならず、学校行事に参加できて子ども達も喜んでいました。 ・小学校、御校と何故か文化祭にあたる行事が無く…一度良いので文化祭を観に行きたいと長い間思っております。何卒ご検討の程をお願いします。 	<p>少々昔の話ですが、昭和～平成初期頃までは、ほとんどの小中学校で文化祭が行われていました。私の小学校は、毎年11月3日文化の日に絵画や木工、書写等の作品展とバザーがありました。子ども心に楽しみにしていたことを思い出します。</p> <p>その後、教員の多忙化や子どもの負担、バザーでの食中毒等、様々な問題が発生し、少しずつ文化祭やバザーが多くの学校で縮小され、現在に至ります。村松桜中学校では、「地域と学校の特色を生かすこと」「歴史と伝統を継承すること」「子どもたちと教職員の実態を踏まえ、今日の教育的課題の解決に寄与すること」の3つのバランスを大切にしながら教育課程を編成しています。その中で、少しでも子どもたちの文化的活動での頑張りを保護者や地域の皆様にご覧いただけるよう、授業参観時に作品展を同時開催したり、合唱コンクールを大切にしたりしています。新たに「文化祭」を立ち上げることはできませんが、現状のカリキュラムを工夫することは可能です。今後もご意見ご要望をいただければ幸いです。</p>

今年度の結果を次年度の教育活動に生かしていきます。今後ともよろしく願いいたします。